

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	日本語 I	
科目基礎情報							
科目番号	0029			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	一般教育科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	4		
教科書/教材	「上級へのとびら」、その他資料						
担当教員	占部 昌威						
到達目標							
(科目コード：M 10950、EE 20950、EC 30950、Mb 40950、Ci 50950、英語名：Japanese III) この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。この科目の到達目標と 各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を、到達目標、評価の重み、学習・教育到達目標との関連の順で次に示す。 ①学習活動、及び日常生活に必要な基本的会話技術習得する。また、さらに相手や場面によっての使い分けなどを学ぶ。20 % (b1),(b2) ② 既習文法や表現の組み合わせ方を習得し、より適切で正確な表現ができることを目指す。50 % (b1),(b2) ③ レポートや小論文など、学生にとって必要な文章作成技術の基礎を学ぶ。30 % (b1),(b2)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安
学習活動、及び日常生活に必要な基本的会話技術習得する。また、さらに相手や場面によっての使い分けなどを学ぶ。	学習活動、及び日常生活に必要な基本的会話技術習得する。また、さらに相手や場面によっての使い分けなどを学ぶ。		学習活動、及び日常生活に必要な基本的会話技術を概ね習得する。また、さらに相手や場面によっての使い分けなどを学ぶ。		学習活動、及び日常生活に必要な基本的会話技術を概ね習得する。また、さらに相手や場面によっての使い分けなどを概ね学ぶ。		左記に達していない
既習文法や表現の組み合わせ方を習得し、より適切で正確な表現ができることを目指す。	既習文法や表現の組み合わせ方を習得し、より適切で正確な表現ができることを目指す。		既習文法や表現の組み合わせ方を概ね習得し、より適切で正確な表現ができることを目指す。		既習文法や表現の組み合わせ方を概ね習得し、より適切で正確な表現が概ねできることを目指す。		左記に達していない
レポートや小論文など、学生にとって必要な文章作成技術の基礎を学ぶ。	レポートや小論文など、学生にとって必要な文章作成技術の基礎を学ぶ。		レポートや小論文など、学生にとって必要な文章作成技術の基礎を学ぶ。		レポートや小論文など、学生にとって必要な文章作成技術の基礎を概ね学ぶ。		左記に達していない
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	高専で学ぶ留学生にとって、日本語力は勉強活動及びそれを支える日常生活の双方において要求される。それらをふまえ、学生がさまざまな場面で日本語によるコミュニケーションがスムーズに行なえることを第一の目的とする。そのための日本語の総合的な基礎力を、4技能(話す・聞く・読む・書く)バランスよく身に付けることを通じて目指す。						
授業の進め方・方法	教科書を中心にビデオや聴解教材、新聞、雑誌等も使用する。						
注意点	語学は知識だけでなく運用することが重要なので、授業に関する予習、復習はもちろん、各自が日々日本語に関心を持ち、運用する地道な努力が必要とされる。 本科目は本来、面接授業として実施を予定していたものであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態において、必要に応じ遠隔授業として実施するものである。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス確認、プレイスメントテスト「上級へのとびら」1 課				
		2週	「上級へのとびら」1 課				
		3週	「上級へのとびら」1 課				
		4週	「上級へのとびら」1課 まとめ発表				
		5週	「上級へのとびら」2 課				
		6週	「上級へのとびら」2 課				
		7週	「上級へのとびら」2 課 まとめ発表				
		8週	前期中間試験			試験時間：50分	
	2ndQ	9週	「上級へのとびら」3 課				
		10週	「上級へのとびら」3課				
		11週	「上級へのとびら」3課				
		12週	「上級へのとびら」4課				
		13週	「上級へのとびら」4課				
		14週	「上級へのとびら」4課 まとめ発表				
		15週	前期末試験			試験時間：50分	
		16週	発展授業			試験返却・まとめ	
後期	3rdQ	1週	シラバス説明「上級へのとびら」5課				
		2週	「上級へのとびら」5課				
		3週	「上級へのとびら」5課まとめ発表 「上級へのとびら」6課				
		4週	「上級へのとびら」6課				
		5週	「上級へのとびら」6課				

		6週	「上級へのとびら」6課	
		7週	「上級へのとびら」6課 まとめ発表	
		8週	後期中間試験	試験時間：50分
	4thQ	9週	「上級へのとびら」7課	
		10週	「上級へのとびら」7課	
		11週	「上級へのとびら」7課	
		12週	「上級へのとびら」7課まとめ発表	
		13週	日本事情関連教材①	
		14週	日本事情関連教材②	
		15週	後期末試験	試験時間：50分
		16週	発展授業	試験返却・まとめ

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる 寛容さが必要であることを認識している。	3	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項に ついて説明できる。	3	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	

評価割合

	定期試験	出席・態度	課題	発表	小テスト	合計
総合評価割合	60	10	10	10	10	100
基礎的能力	60	10	10	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0